

【オーストラリア】2019 年連邦議会選挙及び新政権発足

主任調査員 海外立法情報調査室 原田 久義

＊2019 年 5 月 18 日、連邦議会下院解散に伴う選挙が実施され、下院議員選挙では保守連合が過半数を超える議席を獲得し、政権を維持した。この選挙結果を受け、同年 5 月 29 日には新内閣の閣僚が任命され、3 期連続となる連立政権が発足した。

1 選挙結果

2019 年 5 月 18 日、連邦議会選挙が実施された。史上初の定数 151 議席¹となった下院議員選挙では、保守連合（自由党・国民党）が過半数を超える 77 議席を獲得し、政権を維持した（表 1 参照）。世論調査で優勢を伝えられていた労働党は即日敗北を宣言し、ビル・ショーテン（Bill Shorten）党首は辞任した。

選挙に先立つ 4 月 2 日に保守連合が提出した 2019/2020 新年度予算案では、大幅な所得税減税が打ち出されており、労働党はこの案に反対していた。また、「気候変動投票」（climate change vote）とも称された今回の選挙で、労働党は 50%の再生エネルギー目標等を公約として掲げていたが、景気・経済への悪影響を懸念する中・低所得者層の国民の反発を招いたとの報道もなされた²。

表 1 2019 年及び 2016 年下院議員選挙結果の比較並びに 2019 年上院獲得議席数

政党名		下院得票率（％）			下院獲得議席数			2019 年 上院獲得 議席数
		2019 年	2016 年	増減	2019 年	2016 年	増減	
保守連合	自由党	27.99	28.67	-0.68	44	45	-1	9
	自由国民党	8.67	8.52	+0.15	23	21	-2	6
	国民党	4.51	4.61	-0.10	10	10	0	3
	地方自由党	0.27	0.24	+0.03	0	0	0	1
	(計)	41.44	42.04	-0.60	77	76	+1	19
労働党		33.34	34.73	-1.39	68	69	-1	13
緑の党		10.40	10.23	+0.17	1	1	0	6
その他		14.80	12.98	+1.82	5	4	+1	2

＊ 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2019 年 7 月 11 日である。

¹ オーストラリアの下院議員の州別定数配分（entitlement）は、1918 年連邦選挙法（1918 年法律第 27 号）第 46 条・第 48 条の規定に基づき、下院選挙終了後最初の集会から 1 年経過後に、最新の各州及び特別地域の人口統計を用いた、オーストラリア選挙委員会（Australian Electoral Commission: AEC）による見直しが行われる。今回は、2016 年総選挙後の見直しにより、南オーストラリア州が 1 議席減、ヴィクトリア州及び首都特別地域が 1 議席増となり、定数 151 議席が確定していた。“State/territory entitlement to electoral divisions.” Australian Electoral Commission website <<https://www.aec.gov.au/Electorates/Redistributions/calculating-entitlements.htm>> 下院議員の州別定数配分の見直し等、オーストラリアの選挙制度については、山田邦夫「オーストラリアの議会制度」『レファレンス』799 号、2017.8, pp.8-14. <http://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_10856646_po_079901.pdf?contentNo=1&alternativeNo=>> を参照。なお、上院議員の定数配分は、各州同数であり、現在は 6 州が各 12 人、2 特別地域が各 2 人である。

² Matt McDonald, “Election 2019: What happened to the climate change vote we heard about?” *ABC News*, May 20, 2019. <<https://www.abc.net.au/news/2019-05-20/what-happened-to-the-climate-change-vote/11128128>>

(出典) “Tally Room: 2019 Federal Election.” Australian Electoral Commission website <<https://tallyroom.aec.gov.au/HouseDefault-24310.htm>> を基に筆者作成。

同日に行われ、76 議席中 40 議席が改選された上院議員選挙においても、保守連合が 19 議席を獲得し、留任と合わせて 35 議席を占める第 1 党となったが、過半数には届かず、法案通過には引き続き少数野党等の協力が必要になる。

2 新政権の発足

総選挙の結果を受け、2019 年 5 月 29 日、ピーター・コスグローブ (Peter Cosgrove) 総督により閣僚が任命³され、スコット・モリソン (Scott Morrison) 自由党党首を首班とする、3 期連続となる保守連合の連立政権が発足した (表 2 参照)。23 人の閣僚のうち、史上最多となる 7 人の女性閣僚が任命され、また、ケン・ワイアット (Ken Wyatt) 先住民問題担当大臣がアボリジニとして初の入閣を果たした。

表 2 新政権の構成

役職	氏名	所属
首相／行政管理担当大臣	スコット・モリソン (Scott Morrison)	自由党
副首相／インフラ・交通・地域開発大臣	マイケル・マコーマック (Michael McCormack)	国民党
外務大臣／女性問題担当大臣	マリース・ペイン (Marise Payne) *	自由党
先住民問題担当大臣	ケン・ワイアット (Ken Wyatt)	自由党
水資源・旱魃・農村金融・自然災害・危機管理担当大臣	デビッド・リトルブラウド (David Littleproud)	国民党
人口・都市問題・都市インフラ担当大臣	アラン・タッジ (Alan Tudge)	自由党
財務大臣	ジョシュ・フライデンバーグ (Josh Frydenberg)	自由党
金融大臣	マティーアス・コーマン (Mathias Cormann)	自由党
農業大臣	ブリジット・マッケンジー (Bridget McKenzie) *	国民党
貿易・観光・投資大臣	サイモン・パーミンガム (Simon Birmingham)	自由党
司法長官／労使関係大臣	クリスチャン・ポーター (Christian Porter)	自由党
保健大臣／行政管理・内閣首相補佐大臣	グレッグ・ハント (Greg Hunt)	自由党
内務大臣	ピーター・ダットン (Peter Dutton)	自由党
通信・サイバーセキュリティ・芸術担当大臣	ポール・フレッチャー (Paul Fletcher)	自由党
教育大臣	ダン・ティアン (Dan Tehan)	自由党
雇用・技能・小企業・家族経営企業担当大臣	ミケイリア・キャッシュ (Michaelia Cash) *	自由党
産業・科学・技術大臣	カレン・アンドリュース (Karen Andrews) *	自由党
資源・豪北部担当大臣	マシユー・キャナバン (Matthew Canavan)	自由国民党
エネルギー・排出削減担当大臣	アンガス・テイラー (Angus Taylor)	自由党
環境大臣	スーザン・リー (Sussan Ley) *	自由党
国防大臣	リンダ・レイノルズ (Linda Reynolds) *	自由党
家族・社会福祉担当大臣	アン・ラストン (Anne Ruston) *	自由党
全国障害者保険制度・行政サービス担当大臣	スチュアート・ロバート (Stuart Robert)	自由国民党

(注) *印を付した 7 名は、女性閣僚である。

(出典) “Current Ministry List: The 46 Parliament.” Parliament of Australia website <https://www.aph.gov.au/About_Parliament/Parliamentary_Departments/Parliamentary_Library/Parliamentary_Handbook/Current_Ministry_List> を基に筆者作成。

³ 総督は、下院で多数を占める政党の党首を首相に任命し、首相の助言に基づいて各国務大臣を任命する。山田 前掲注(1), pp.4-5.